

石農政第 158 号
令和 3 年 7 月 30 日

第 5 期石狩市農業振興計画策定委員会
委員長 小林 国之 様

石狩市長 加藤 龍 幸

「第 5 期石狩市農業振興計画」の策定について（依頼）

第 5 期石狩市農業振興計画策定委員会設置要綱第 2 条の規定に基づき、標記の件について貴委員会の提言を求めます。

令和4年3月11日

石狩市長 加藤 龍幸 様

第5期石狩市農業振興計画策定委員会
委員長 小林 国 之

第5期石狩市農業振興計画について（提言）

令和3年7月30日付け石農政第158号で提言依頼のありました第5期石狩市農業振興計画の策定について、別添「第5期石狩市農業振興計画」のとおり提言いたします。

農業を取り巻く環境は、経済連携協定等の発効に伴うグローバル化が一層進展する中、少子高齢化や人口減少による食料自給率の減少、農産物価格の低迷、農業担い手の減少に伴う地域コミュニティの衰退、農業用機械や肥料など生産資材の高騰、大規模自然災害の発生、さらには世界的に感染が拡大した「新型コロナウイルス感染症」による経済環境の悪化など、これまでに増して厳しい状況が続いております。

このような状況下において、石狩市の農業が持続的に発展し、食と環境を次世代に継承していくために、世界共通の目標である「持続可能な開発目標（SDGs）」や「カーボンニュートラル」の達成に向けた取り組みを推進するとともに、また地理的優位性や特色ある地域資源を十分に活かし、漁業や商工業、観光などの各産業間との連携強化を図り、農産物の高付加価値化や地産地消、農村・都市の交流など推進する必要があります。

この提言は、当委員会が検討協議を重ねるなかで、石狩市農業の現状や課題を整理し、今後10年間における農業・農村づくりの目指すべき方向性や講じるべき施策の考え方をとりまとめたものです。

なお、各施策の実施にあたっては、検討経過における各委員の意見等に十分留意し、将来像である「魅力発信！ 地域で支え、未来につなぐ いしかり農業」の実現に向け、最大限努力されるよう要望いたします。